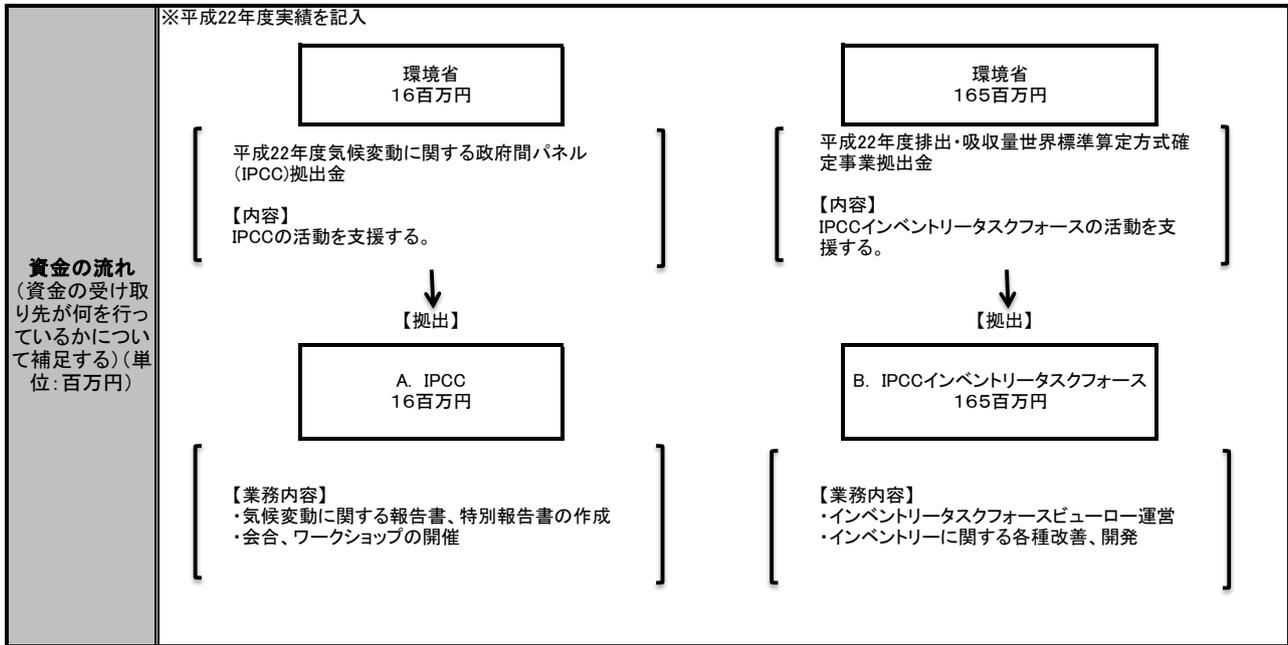


行政事業レビューシート (環境省)

事業名	排出・吸収量世界標準算出方式確立事業拠出金等	担当部局庁	地球環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度(終了予定なし)	担当課室	総務課研究調査室			室長 松澤 裕	
会計区分	一般会計	施策名	2-2 地球環境保全に関する国際連携・協力				
根拠法令(具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・温暖化対策に係る各種施策の基盤となる科学的知見をインプットする気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の活動を支援する。 ・我が国がIPCC14回総会においてテクニカルサポートユニットの運営等を引き受けたIPCCのインベントリータスクフォースの活動を支援する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	■気候変動に関する政府間パネル(IPCC)拠出金(平成9年度～) ・IPCCの科学的知見が国際的枠組みの構築の基盤となっていることを踏まえ、IPCCの活動や各種報告書作成に貢献すべく、環境省はIPCCに対し拠出金により支援する。 ■排出・吸収量世界標準算定方式確立事業拠出金(平成11年度～) ・我が国はIPCC第14回総会において、インベントリー(温室効果ガスの排出目録)方法論改訂、確立に向けた作業を集中的に実施するためのタスクフォースのテクニカルサポートユニットの運営等を引き受けることを提案、了承された。環境省はタスクフォース活動を拠出金により支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	132	167	181	177	181
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
		計	132	167	181	177	181
	執行額	132	167	181			
執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	拠出金による活動支援であり、定量的な指標を設定することが困難	成果実績	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	我が国の拠出金比率	活動実績(当初見込み)	—	22.6%	27.7%	29.2%	—
単位当たりコスト	(円/ )	算出根拠	単位当たりのコストを算出することが困難。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	経済協力開発機構等拠出金	177	181	IPCC拠出金については、IPCC第5次評価報告書作成に向けたIPCC活動予算の増加に伴い、昨年度比2万スイスフラン増で要求している。また、排出・吸収量世界標準算定方式確立事業拠出金については、インベントリータスクフォースの毎年の活動に合わせて、同事務局と要求額を調整している。同タスクフォースは今年度半ばから平成25年度にかけて、SBSTAの要請により、新たなインベントリー方法論ガイドランスを作成する活動を行っており、こちらについても若干の増額要求となっている。			
計	177	181					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>各国の気候変動政策やUNFCCCをはじめとする国際交渉の場に対するIPCCの役割の重要性は、増しているが、一方でクライメートゲート事件等によりゆらいだ信頼性を回復させるためのIPCC改革も必要となっている。我が国の拠出金及びインベントリータスクフォース支援は、他国の支援とあいまって、IPCC WG I～WGⅢの活動(再生可能エネルギー特別報告書、極端現象、特別報告書の作成、第5次評価報告書の準備)及びタスクフォースの活動(2006ガイドラインの普及、原単位データベースの充実等)に貢献している。IPCCの国際的重要性が高まる中、我が国からも積極的に関与すべく、拠出金によるIPCC改革とIPCC活動に対し支援を充実させていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>IPCCのインベントリータスクフォースの活動支援等について、引き続き、必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			



費目・用途 (「資金の流れ」 においてブロックごと に最大の金額が支出され ている者について記載す る。費目と用途の双方で 実情が分かるように記載)	A. IPCC			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
拠出金	気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 拠出金		16			
計			16	計		0
	B. IPCCインベントリータスクフォース			F.		
費目	用途		金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
拠出金	排出・排出量世界標準算定方式確立事業拠出金		165			
計			165	計		0
	C.			G.		
費目	用途		金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計			0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IPCC	・気候変動に関する報告書、特別報告書の作成 ・会合、ワークショップの開催	16	拠出金	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IPCCインベントリータスクフォース	・インベントリータスクフォースビューロー運営 ・インベントリーに関する各種改善、開発	165	拠出金	—